



レッスンの時間

子供たちは今週、自分に必要なことやして欲しいことを誰かに頼む方法を学んでいます。助けを求めたいとき、子供たちに必要なのは次のことです。

- ・話している相手の顔を見る
- ・はっきりと丁寧に話す

困ったときに助けを求めることは、学習の重要な要素です。丁寧に助けを求める方法を知っていると、学校や家庭で子供たちの役に立ちます。

遊びの時間

ご飯を食べているとき、お子さんと一緒にして欲しいことを頼む練習をしましょう。例えば、このように言います。

今から、食べている間に何かを渡すゲームをしましょう。あなたが何かを手渡して欲しいとき、それを持っている人の顔を見て、はっきりと丁寧に、して欲しいことを頼んでみてね。まず、大人がモデルを見せます。子供の方を向いて言います。そのパンをとってください。

もし相手の顔を見ることや、はっきりと丁寧に言ったり「渡してください」と言うのを忘れてきたときは、もう一度やり直します。

お話の時間



グロリア

今週は、グロリアさんについてのお話です。グロリアさんは、ジャンパーのファスナーをあげるのを手伝ってもらいたいと思っています。お子さんにこの話について聞いてください。

- ・この写真からどんなことが分かる？
- ・グロリアさんは誰に手伝ってもらえることができる？（例：先生、友だち）
- ・グロリアさんはどのように手伝いを頼めばよい？（例：先生の顔を見て、はっきりと、丁寧に頼めばいい）

グロリアさんが、どのように手伝いを頼めばよいかを練習してみましょう。お子さんは、あなたの顔を見て、はっきりと丁寧に「手伝ってください」と言う練習をします。